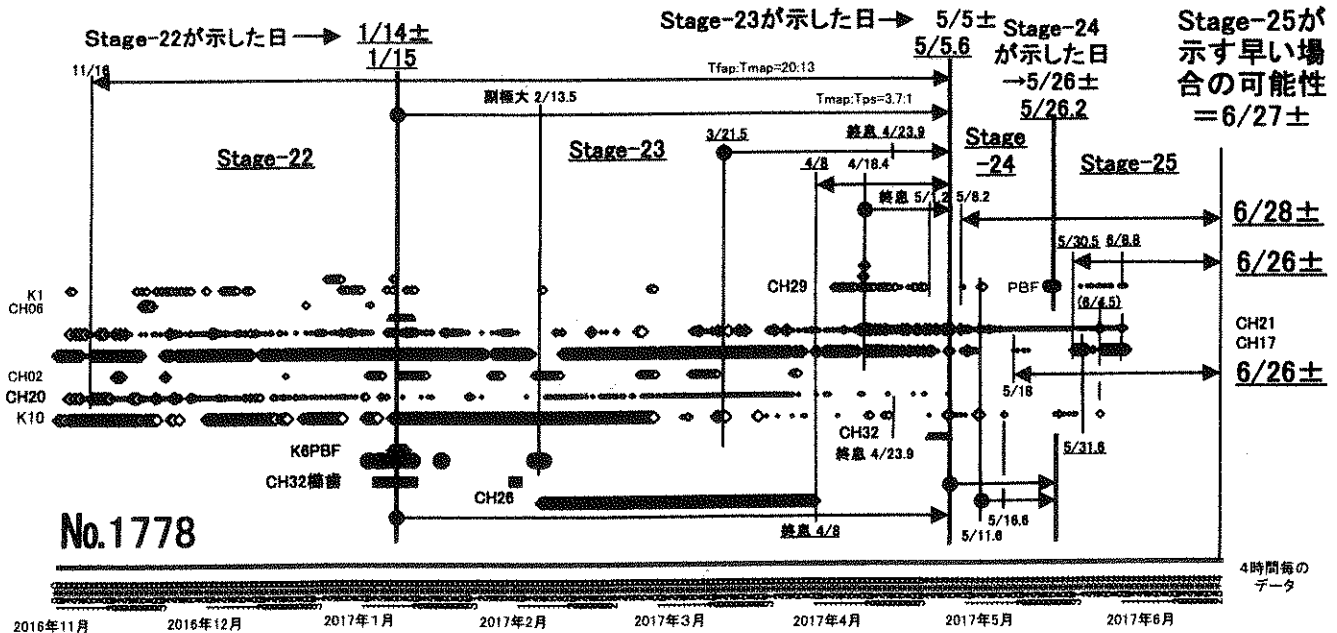


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 CH21特異に加え CH17特異+CH29特異 出現
ステージ25の解釈誤認 → 早い場合の可能性として 6/27±を示す



前情報では、第25ステージの前兆動向から、6/8 ±迄に前兆終息が観測された場合は、6/10±を示す可能性について報告致しました。

しかし、6/4 からCH21特異に加え、CH17の糸状特異が継続する様になり、本日6/9 午後現在、CH21及びCH17の特異前兆が継続出現中です。

CH29の短時間特異も時折散発的に出現が認められます。この現状から、ステージ25の前兆動向認識を誤認していた可能性が明らかで、6/10±を示す認識も誤りであることが明らかとなりました。申し訳ありません。

上図前兆出現状況図中に書き込んだ前兆関係が仮に正しい場合は、早い場合でも今月末の6/27±を示す可能性が示唆される状況です。

今後の変化を観測して、検討する必要がありますが、現状今月末時期まで発生の可能性は考えられないこととなります。

今後の前兆変化、特に終息を観測確認して、全前兆終息の場合は、対応地震発生が推定されますので、その時点で計算してご報告したいと考えます。

※勿論、今月末以前を示す可能性が出現した場合は、即刻検討した上で、ご報告させていただきます。

◆推定領域：下図 点線領域=大枠 太線領域内=可能性高い
※ある程度火山に近い領域の可能性有
(※影響局誤認の場合は福島付近となるが下図領域が考え易い)

◆推定規模：M7.8 ± 0.5 (震源浅い陸域日本列島地殻地震)

◆推定時期：実際の前兆終息を観測後計算予定
現状考えられる可能性：6月27日 ± 2

◇推定発生時刻：午前9時 ± 1時間 (又は午後6時 ± 3時間)

